

社会科（地理的分野） 年間指導・評価計画

目 標

社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。

評価の観点及びその趣旨

観 点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
趣 旨	日本や世界の諸地域について、その地域構成や地域的特色、地域の課題などを理解し、その知識を身に付けている。	地理的事象から課題を見だし、日本や世界の地域的特色を地域の規模に応じて環境条件や人々の営みなどと関連付けて多面的・多角的に考察し、公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。また、地図や統計、映像など地域に関する様々な資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	地理的事象に対する関心を高め、それを意欲的に追究し、広い視野に立って我が国の国土及び世界の諸地域の特色について主体的に認識を養おうとする。

月	時 数	単元名 教材	学習内容・ねらい
7 年 前 期	10	第1章 世界の姿 ■章の問い■ 世界にはどのような国があり、その位置を表すには、どのような方法があるのだろうか。	世界の地域構成を取り上げ、位置や分布などに着目して、課題を追究したり解決したりする活動を通して、次の資質・能力を身に付けることができるようにさせる。 ①緯度と経度、大陸と海洋の分布、主な国々の名称と位置などを基に、世界の地域構成を大観し理解させる。 ②世界の地域構成の特色を、大陸と海洋の分布や主な国の位置、緯度や経度などに着目して多面的・多角的に考察し、表現させる。 ③世界と日本の地域構成について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究させる。
7 年 前 期	10	第2章 日本の姿 ■章の問い■ 日本の位置や広がりには、どのような特色があるのだろうか。	日本の地域構成を取り上げ、位置や分布などに着目して、課題を追究したり解決したりする活動を通して、次の資質・能力を身に付けることができるようにさせる。 ①我が国の国土の位置、世界各地との時差、領域の範囲や変化とその特色などを基に、日本の地域構成を大観し理解させる。 ②日本の地域構成の特色を、周辺の海洋の広がりや国土を構成する島々の位置などに着目して多面的・多角的に考察し、表現させる。 ③日本の地域構成について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究させる。
	9	第1章 人々の生活と環境 ■章の問い■ 世界各地の人々の生活は、自然環境とどのような関わりがあるのだろうか。	場所や人間と自然環境との相互依存関係などに着目して、課題を追究したり解決したりする活動を通して、次の資質・能力を身に付けることができるようにさせる。 ①人々の生活は、その生活が営まれる場所の自然及び社会的条件から影響を受けたり、その場所の自然及び社会的条件に影響を与えたりすることを理解させる。また、世界各地における人々の生活やその変容を基に、世界の人々の生活や環境の多様性を理解させる。その際、

			<p>世界の主な宗教の分布についても理解させる。</p> <p>②世界各地における人々の生活の特色やその変容の理由を、その生活が営まれる場所の自然及び社会的条件などに着目して多面的・多角的に考察し、表現させる。</p> <p>③世界各地の人々の生活と環境について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究させる。</p>
7 年 前 期	29	第2章 世界の諸地域	<p>アジア州・ヨーロッパ州・アフリカ州・北アメリカ州・南アメリカ州・オセアニア州の各州を取り上げ、空間的相互依存作用や地域などに着目して、主題を設けて課題を追究したり解決したりする活動を通して、次の資質・能力を身に付けることができるようにさせる。</p> <p>①世界各地で顕在化している地球的課題は、それが見られる地域の地域的特色の影響を受けて、現れ方が異なることを理解させる。</p> <p>①アジア州・ヨーロッパ州・アフリカ州・北アメリカ州・南アメリカ州・オセアニア州の各州に暮らす人々の生活を基に、各州の地域的特色を大観し理解させる。</p> <p>②アジア州・ヨーロッパ州・アフリカ州・北アメリカ州・南アメリカ州・オセアニア州の各州において、地域で見られる地球的課題の要因や影響を、州という地域の広がりや地域内の結び付きなどに着目して、それらの地域的特色と関連付けて多面的・多角的に考察し、表現させる。</p> <p>③世界の諸地域について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究させる。</p>
8 年 後 期	4	<p>第1章 身近な地域の調査</p> <p>■章の問い■ 身近な地域の様子を調べるには、どのような方法があるのだろうか。</p>	<p>場所などに着目して、課題を追究したり解決したりする活動を通して、次の資質・能力を身に付けることができるようにさせる。</p> <p>①観察や野外調査、文献調査を行う際の視点や方法、地理的なまとめ方の基礎を理解させる。</p> <p>①地形図や主題図の読図、目的や用途に適した地図の作成などの地理的技能を身に付けさせる。</p> <p>②地域調査において、対象となる場所の特徴などに着目して、適切な主題や調査、まとめとなるように、調査の手法やその結果を多面的・多角的に考察し、表現させる。</p> <p>③地域調査の手法について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究させる。</p>
8 年 前 期	13	<p>第2章 日本の地域的特色</p> <p>■章の問い■ 日本の自然環境や人口、産業には、どのような特色があるのだろうか。</p>	<p>「自然環境」「人口」「資源・エネルギーと産業」「交通・通信」の項目を取り上げ、分布や地域などに着目して、課題を追究したり解決したりする活動を通して、次の資質・能力を身に付けることができるようにさせる。</p> <p>①日本の地形や気候の特色、海洋に囲まれた日本の国土の特色、自然災害と防災への取組などを基に、日本の自然環境に関する特色を理解させる。</p> <p>①少子高齢化の課題、国内の人口分布や過疎・過密問題などを基に、日本の人口に関する特色を理解させる。</p> <p>①日本の資源・エネルギー利用の現状、国内の産業の動向、環境やエネルギーに関する課題などを基に、日本の資源・エネルギーと産業に関する特色を理解させる。</p> <p>①国内や日本と世界との交通・通信網の整備状況、これを活用した陸上、海上輸送などの物流や人の往来などを基に、国内各地の結び付きや日本と世界との結び付きの特色を理解させる。</p> <p>①「自然環境」「人口」「資源・エネルギーと産業」「交通・通信」の項目に基づく地域区分を踏まえ、我が国の国土の特色を大観し理解させる。</p> <p>①日本や国内地域に関する各種の主題図や資料を基に、地域区分をする技能を身に付けさせる。</p> <p>②「自然環境」「人口」「資源・エネルギーと産業」「交通・通信」の項目について、それぞれの地域区分を、地域の共通点や差異、分布などに着目して、多面的・多角的に考察し、表現させる。</p> <p>②日本の地域的特色を、「自然環境」「人口」「資源・エネルギーと産業」「交通・通信」の項目に基づく地域区分などに着目して、それら</p>

			を関連付けて多面的・多角的に考察し、表現させる。 ③日本の地域的特色と地域区分について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究させる。
8 年 前 期	46	第2章 日本の諸地域	下の(1)から(5)までの考察の仕方を基にして、空間的相互依存作用や地域などに着目して、主題を設けて課題を追究したり解決したりする活動を通して、次の資質・能力を身に付けることができるようにさせる。 (1)自然環境を中核とした考察の仕方 (2)人口や都市・村落を中核とした考察の仕方 (3)産業を中核とした考察の仕方 (4)交通や通信を中核とした考察の仕方 (5)その他の事象を中核とした考察の仕方 ①幾つかに区分した日本のそれぞれの地域について、その地域的特色や地域の課題を理解させる。 ①上の(1)から(5)までの考察の仕方ですら取り上げた特色ある事象と、それに関連する他の事象や、そこで生ずる課題を理解させる。 ②日本の諸地域において、それぞれ左の(1)から(5)までで扱う中核となる事象の成立条件を、地域の広がりや地域内の結び付き、人々の対応などに着目して、他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察し、表現させる。 ③日本の諸地域について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究させる。
8 年 後 期	4	第1章 地域の在り方 ■章の問い■ 地域をよりよくするためには、どのようなことに取り組むとよいのだろうか。	空間的相互依存作用や地域などに着目して、課題を追究したり解決したりする活動を通して、次の資質・能力を身に付けることができるようにさせる。 ①地域の実態や課題解決のための取組を理解させる。また、地域的な課題の解決に向けて考察、構想したことを適切に説明、議論しまとめる手法について理解させる。 ②地域の在り方を、地域の結び付きや地域の変容、持続可能性などに着目し、そこで見られる地理的な課題について多面的・多角的に考察、構想し、表現させる。 ③地域の在り方について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決させる。

【かがやきの評価について】

- 1 知識・技能
「定期考査」「小テスト」「ノート・作品などの作成」
- 2 思考・判断・表現
「定期考査」「ワークシート」「小テスト」
- 3 主体的に取り組む態度
「社会的事象に対する関心」「授業態度」「提出物」「ワークシート」